

広報広聴特別委員会 会議録

開催年月日	平成28年7月5日（第3回）			
開催の場所	湖西市役所 委員会室			
開閉会時刻 並びに宣告	開会	午後 1時30分	委員長	馬場 衛
	閉会	午後 2時55分	委員長	馬場 衛
出席並びに 欠席議員 出席 9名 欠席 0名 〔凡例〕 ○は出席を示す ▲は欠席を示す	氏名	出欠	氏名	出欠
	楠 浩幸	○	馬場 衛	○
	渡辺 貢	○	中村 博行	○
	吉田 建二	○	神谷 里枝	○
	加藤 弘己	○		
	荻野 利明	○		
	豊田 一仁	○		
説明のため 出席した者の 職・氏名				
職務のため 出席した者の 職・氏名	次 長	尾崎 修	書 記	加藤 紘騎
会議に付した事件	別 紙 の と お り			
会議の経過	別 紙 の と お り			

広報広聴特別委員会会議録

平成28年7月5日（火）

湖西市役所 委員会室

湖西市議会

[午後1時30分 開会]

○渡辺副委員長 皆さん、こんにちは。連日の暑い日が続きますけれども、また、先週1週間前に開催したばかりで、またの開催ということでお集まりいただきましてありがとうございます。議会報告会も多分、じっくり丁寧に相談しながら進めましょうということで、前回そんな話になりましたので、きょうはよろしくお願ひしたいと思ひます。それでは、以降は委員長さん、よろしくお願ひします。

○馬場委員長 どうも委員の方、大変御苦労さまです。連日暑い中でございますが、十二分に健康に留意をしていただきたいと思ひます。

それでは、ただいまから広報広聴特別委員会を開会させていただきます。

第3回ということでございます。第2回につきましては、8月の当初予定をいたしました議会報告会について、もう一度、当初から見直すということで、きょうは議事の中の今後の方針ということと、もう一つ、その他、これは恐らく8月の行政視察の関係になろうかと思ひます。お手元のほうにも、事務局のほうで市議会の予定、また昨年、議会基本条例推進特別委員会の調査報告書にありますように、広報広聴に関する提言もありますので、その部分を含めて、少し時間をかけた中で、この特別委員会の進め方を皆さんと協議し、進めていきたいと思っております。そんな形できょうは進めて、最終的には視察が終わった後に、具体的な方向へ行ければというふうを考えておりますので、きょうは、こういうのもいいねというような少し御意見を出していただいて、最終的にまとめるというのではなく、今後どういうふうにしようかということだけの御意見をいただければというふうを考えております。よろしくお願ひいたします。

それでは、暫時休憩とさせていただきますので、よろしくお願ひいたします。

午後1時32分 休憩

午後2時00分 再開

○馬場委員長 休憩を解いて、会議を進めさせていただきます。

議事の1番目にありますように、今後の方針についてであります。休憩中に皆さんの御意見をまとめても、なかなか全てまとまる段階までいっていないということで、当面、8月の上旬に予定しております広報広聴特別委員会でも予定しております行政視察を終えて、その結果をもとに報告会の開催等、また特別委員会として何をやっていくかということも順次決定していくような形をとりたいと思ひますが、方向性としては、そのような形でよろしいでしょうか。よろしいですかね。

[「はい」と呼ぶ者あり]

○馬場委員長 今ちょっと、少し時間を置いてというような形で進めさせていただきたいと思ひます。ただ、報告会のほうについては、大枠の中で少しこの辺と、この辺だねという目標値がとれればと思うんですが、その辺の御意見についてはいかがでしょうか。日程で見ると、市長選が終わったすぐか、12月定例会の後、そのところしか日程的ではないものですから。できれば年内という声も、先ほどありましたけれども、いかがでしょうか。それも、視察が終わってからでいいですかね。加藤委員、何かありますか。

○加藤委員 去年の例を見ると、正副委員長がある程度、大まかなストーリーを決めてくれたから、別に僕らは委員会として反対して、そんなものとてもできないからと、ひっくり返した覚えもないし、上のほうが決めれば、僕らはそれに沿ってやるし、福祉は委員長がいなくても副委員長がいるでしょう。そのための副委員長ですから。やはり、このところの正副委員長は、ある程度の方向を決めてつくって、それがひっくり返らないような調整をしないとまずいと思う。また皆さんの意見を聞いていてやっていたら、また、こんなものというふうになるし。僕はちょっとへそ曲がりなので、そう思うんですけれども。ある程度、委員長は「もう、やるんだ」ということでやらないと、いろいろ意見を聞いて水入りでやって、どうか、こうとかやっていたら、なかなか始まらないと思うんですね。

○馬場委員長 それは十分承知しております。ただ、具体的な中身は別として、やる方向の中で、日程を決めるとなると11月の市長選が終わった後並びに、12月定例会が終わった1月の終わり以降、3月定例会の前、その間ぐらいつい日程的にはとれないんですよ。

○加藤委員 私は決まったら、委員会の連中にしっかり、こういうふうにするんだから、このときにやれというようにしますので、決めてくれればいいと思います。

○馬場委員長 それを決めるに関して、皆さんの御意見を今求めたいんですけども。どちらかになろうと思うんですよ、今の予定でいくと。中村委員、どうぞ。

○中村委員 我々の任期はまだ2年ちょっとあるので、別に2月にやっても翌年のときには生かせるので、別に遅いということは私はないというふうに感じるけどね。まだ、終わってしまっていないなら遅いかもわからないが。巻いていく話なので、いいではないかなと私は思いますけれども。

○馬場委員長 豊田委員、いかがですか。

○豊田委員 12月の中旬に集まっていたか、1月の下旬以降に集まっていたか、それしかないですね。報告事項そのものは、年度の後半にいけば、それなりのものが出てくるでしょうから。いろいろなやり方も模索しなければいけないでしょうし。

○馬場委員長 わかりました。それでは、きょうは結論は出せません。とにかくあいている日程は11月の市長選後並びに12月定例会の後、1月から2月の中旬、その辺のところになろうかと思えます。ただ、特別委員会として、全てが報告会ではありませんので、そのほかにも、まだ報告会を実行するための運用規定をつくるというのも特別委員会としての仕事かなというふうに思っておりますので、そういった部分も含めて、今回の行政視察を最重点目標として、その結果をもう一度皆さん方に、結果によって、今年度の特別委員会の再度進め方について御意見をまとめていきたいと思っておりますので、心して行政視察に臨んでいただきたいと思えます。

行政視察後に最終的な今後の方針については、再度確認をさせていただきますので、そのような形で進めさせていただきます。副委員長のほうから、何か補足はありますか。

○渡辺副委員長 今の話はそれでいいと思います。それで、いずれにしても、さっきの話だと11月、選挙が終わってからか、あるいは1月に延びた定例会が終わってから、1月から2月ということで、この提言を見ると、各種団体や若年層など、各階層にも配慮した話し合いの場づくりというのがあるんですよ。せっかくこういう提言もあるので、やらないのではなくて、報告というよりも意見交換会、私は前に福祉のほうにいたときに、民生委員さんとたしかやったことがあるんですが、そういう既存の団体と意見交換をやらせてもらえませんか。はだあって集まってもらえるのは大変なので、そういうような情報を仕入れて、ちょっとそこで1時間いただけませんかというふうな話ができれば、一番やりやすいのは、委員会ごとにやるというのが、各種団体でそれぞれあると思うので、そういうふうなことを各委員長さんをお願いをして、1つでも2つでも、そういうのをまずやってみよう。これはこれで、もう少し先になってしまうけれどもという、そのぐらいで、少しは何かやったほうがいいのではないかなと思うんですけども、いかがでしょうか。

○馬場委員長 わかりました。提言をいただいているものを生かす場があればと思いますので、きょう決定するのではなくて、そういうことも含めて、全てが行政視察後になろうかと思えますけれども、そういう形で皆さん方の意見もまとめておいていただきたいなど。また、視察先で、こういう方法でやられている場所を確認できればしっかり聞いていただいて、こっちへ生かせるような方法をとっていただければいいかなというふうに思っていますので。あくまでも先ほどの11月、1月末については、全体としての湖西市議会としての報告会の方向でございます。ただ、特別委員会としては、先ほど副委員長が言われたように、委員会ごとの報告会があってもいいし、各種団体との、また、若年層との意見交換会等もあってもいいと思いますので、そこらも踏まえて、今度はしっかり勉強していただいて、今後の活動に加えていただければというふうに考えております。

きょうは、そういったところで締めたいと思いますが、よろしいですか。ほかに御意見はありますか。よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○馬場委員長 それでは、そのような形をとらせていただきます。

副委員長、どうぞ。

○渡辺副委員長 議会報告会は議会報告会で、もう少し先延ばししようということですが、私どもの役割は議会報告会と同時に広報広聴全般について研究していこうということで、それも今度の提言を見ると、ICTをもっと活用するような取り組みにしましょうとか、請願とか陳情制度をもっと市民にアピールしましょうとか、そういうのがあると思いますので、ここらをどういうふうに進めていくのか。その辺を少し話をして、特別委員会なので、最低月1回ぐらいは集まっては何かやらなければいけないと思うので、そういう意味で、この課題もなかなか難しいですけども、その辺ちょっと御意見を伺っていただけるとどうでしょうか。

○馬場委員長 ただいま、副委員長の渡辺さんのほうから、議会報告会だけでなく、ICTの活用、請願・陳情制度の活用、また基本条例の運用、検証、見直し等々、また議会改革全般についても、広報広聴に関する部分の仕事ではないかなというお話がありました。定期的な月1回の特別委員会を開催して、少しでもこういったことについて取り組みができるような形で進めていきたいと思いますが、御意見はどうでしょう。その辺のところも踏まえて、定期的な委員会を開催させていただきたいと思っておりますが、きょうすぐ答えが出るというあれでもないと思いますが、吉田委員、どうですか。

○吉田委員 ぜひ、そういうことをやっていっていただけたらいいのではないかなと思うし、また特別委員会として取り上げていくべきではないかなと思います。ということは、実は議会運営委員会の行政視察もあって、僕も質問事項の中にも挙げているんですけども、今言ったタブレット端末の運用とか導入した経緯、それを導入した、決定した事由は何なのか。こういうことだから導入したという、そういうポイントについて聞きたいなこととか、議員間討論というのか、自由討議、それもどういふぐあいにやっているかということを知りたいかなと思うし、そこら辺も我々の広報広聴委員会の中において、少しぐらい議論していてもいいのではないかなと思います。

それと、あと1点、さっき報告会のお話があったけれども、意見交換会ということで、各種団体との意見を求めると。これについては、ぜひこのところである程度、こういうぐあいにやったらどうかというようなものを練り上げていけばいいのではないかなと。いわゆる市民会議だとかシティーミーティングの開催を四日市でやっているものだから、ぜひそんなところで聞いていきたいかなと思うんですけども、そこら辺の各種団体とのあれを定期的に行うようにしようとか、そういう基本的なルールを我々のところで決めていくといいと思います。

せんだって、本当に事例として、1週間か10日ぐらい前に市内の医師会の先生から、たまたまライオンズクラブの会合で行き会ったときに、議員の皆さんと意見交換をしたいよというようなことで、ひとつ話をどうだねということで、私は議長のところ、こんなお話がありましたということをお伝えしてあります。そういうことは議運でやるのか、あるいは全協でやるのか、そこら辺はまた何らかでしましょうねということで、大体そんな様子は聞いているよということで、議長も承知されておられたんですけども、そういうことで、ぜひ各種団体との意見交換は、ぜひ我々はやっていくようにしたいなと。その1つのルールづくりというか、そんなものをぜひやっていただけたらと思います。

○馬場委員長 せっかく広報広聴特別委員会がありますので、そういった市民の意見を聞く窓口が我々のところに来てやって、それをある程度、具体的にマニュアル化、どういうふうにやろうということを確立していけばいいかなと思いますので。順次決めていきたいなと考えております。

○吉田委員 先ほど、それは視察を終えてから、また今後やっていきたいと思いますということで、そっこのほうかなと思ったけれども、今そういう話が出たので、ぜひその点はやっていただきたいと思います。

○馬場委員長 ありがとうございます。今いただいた意見も含めて、今後の活動の検討課題ということにさせていただきます。

○渡辺副委員長 ウェブサイトなんかも、今まで過去にも意見が出て、まだ結論が出ていないんですね。それもちゃんとやったほうがいいかなというふうに思うので、その辺、御意見を多分持っていらっしゃる方がほかにいると思いますので。

○馬場委員長 では、楠委員お願いします。ウェブサイトとICT関係はどうか、活用について。

○楠委員 ぜひ積極的に。

○馬場委員長 各議会でもタブレット導入とか、いろいろなところもあるものですから、そこらのところは今度の議運の視察の中にも入っている。聞けるような状況ですかね。中村委員、どうぞ。

○中村委員 やり方として、議員の中のやり方と議会が市民にいろいろな情報を提供してもらう方法とかいろいろあるので、具体的に分けていかないと話をごっちゃになってくのではないかなという感じがしますけれども。議員間でやるなら、そういったタブレットみたいなもので、みんな共通したものを見れるようにするというような内容もとれるし、また市民のほうに情報を提供するには、また別の方法のやり方もあるし、そういう目的によっていろいろ違うのではないかなと私は思います。

○馬場委員長 そういったところも含めて、研究していかなければいけないかなというふうに思います。豊田委員、どうぞ。

○豊田委員 我々はどこまでできるかわかりませんが、一度専門家、より詳しい方の基本的なレクチャーを聞いて、ある程度認識レベルをそろえておかないと、何をどう考えていいかわからないというのが現状だと思うんですよ。情報政策課をお願いするのがいいのか、それとも、もっと別の専門事業者の方をお願いするのがいいのか、いろいろな考え方はあるのではないかなと思うんですが、我々の知りたいものを、とりあえず整理しながら基本になるところを少し補充しておかないと、ICTを考えようといっても、何をどう考えていいかわからないというところからのスタートになってしまいますので、ちょっとその辺のステップを考えていただくほうがいいのではないかなと思います。それもさっき中村さんがおっしゃったように、対市民向けなのか、対議会内部なのかということもありますし、ちょっとその辺、懸念として持っている部分です。

○馬場委員長 わかりました。吉田委員、どうぞ。

○吉田委員 特にタブレットを持ったときに、じゃあどうかといったときに、私は市民からの議会とか何かに寄せられた、そういうような声を、「こんなぐあいに載っているよ、どう思う」ということを、できればみんなで見ながら、そういうようなことをつぶさに見るとか、あるいは、うちの議員とかでなくても、市の投書などを「ここに載っているよ」とか、「こんな情報がある」とか、あるいは「ほかの市の議会活動では、こうやっているよ」ということも、資料をやるときのそういう資料にタブレットを使っていけば、広報広聴という意味での、いわゆる広聴の1つの手段として我々もやっていったらどうかと、こういう捉え方です。そうでないと、ただ広報広聴活動にどれだけのつながりがあるかと。内部的な関係になってしまう可能性もありますけどね。そういう意味合いで、そこら辺はどうかと、そんなことで先ほどお話を申し上げました。

以上です。

○馬場委員長 活用する方法はいろいろあるので、それをしっかり研究していけばいい話ではないかなと思いますけれども。議場で使うなら、ペーパーレス化というような方向等も考えられているし、今言ったように市民から直の情報をその場で見れるというのも貴重なものなので。少し時間をかけながらでも、やっていかなければいけないと思います。しっかり分けてね。わかりました。中村委員、どうぞ。

○中村委員 今、行政も広聴ということでは、アイデアポストとか、いろいろやっている内容があるんだけど、我々には見せてもらえないんですが、そういうのを見せてもらっても、ある程度どんな意見を持っているかというの

はわかるようになるかと思うんだけどね。そういう2つも3つも議会のほうの窓口と行政のほうと、窓口が2つあると、いろいろ言うことが違ったりするようなこともあるので、そこら辺も統一したほうがいいのか、何か考え方がまとまらないと、行政は行政でとっているし、議会は議会でとっているという形になってしまうと、行き違いがあるのではないかなと思って、そんな話をしているので、できれば私は行政のほうでやっているのが議会のほうにも見えるといいだろうなというふうに思います。

○馬場委員長 豊田委員、どうですか。

○豊田委員 行政のほうに入っているものについては、一応アップされていますよね。それを見ることができると、逆に議会が余りにオープンにしまうと、インターネットで一番怖いのは匿名性、名前がわからないことによって限られた人たちが極論に走った表現をぶつけてくるという、匿名性の怖さというのがありますし、全世界から反応がもらえるという大きなメリットもあると同時に、じゃあ湖西市にとってどうなんだというところの相反する部分もあるので、その辺のもろ刃の剣の部分も理解した上で、ある程度考えていかなければいけない。その辺のところのまづ基礎知識を身につけなければいけないのではないかなと思います。

○馬場委員長 その辺は、やはり専門家のいろいろなところでレクチャーを受けて、しっかり研究してやっていく必要があるかなと考えますけれども、基本的には名前を名乗らない人に対する回答は、ほとんど不可能に近いので、それはできない形になると思いますので、それについてはもう少し時間と研究をもっていきたいというように思っております。吉田委員。

○吉田委員 今、豊田委員がおっしゃったもろ刃の剣というか、その関係は確かに我々はしっかりと意識していかなければいけないと思います。タブレットはそれにしてもう一つ、市民の声を我々議会としても吸収する1つの手法を考えなければいけないかなというのが、たまたま議会の傍聴に来られた方の一部の声として、議会を傍聴した後に、意見を入れるような意見箱というか、そんなものはないのかな。非常にそこら辺を感じましたよということ私は個人的に、そんな意見をもらいました。機会があったら、またお話ししますよということでしたわけですがけれども、やはりいろいろ傍聴したり、言われた中において、いろいろな意見とか、そういうものがあるということで、そこら辺を述べるような手段というのはないですかねというようなことがあったものですから、これは我々としても研究していかなければいけないのではないかと思います。

以上です。

○馬場委員長 せっかく傍聴に来ていただいて、「この一言を言って帰りたいね」という人も中にはおられるので、自由に書けるようなものがあればね。それはそれで、またいろいろ検討してみてください。我々の範疇かもわかりませんが。

○吉田委員 それは議運でやるのか、広報広聴の中でやるかは別として、一遍、機会があったら発言しますよということでおきした。

○馬場委員長 アンケート形式でもいいしね。

○吉田委員 それでいいと思いますよ、アンケートで。

○馬場委員長 それはまた、全体の中で検討していただければと思います。

それでは、御意見のほうはよろしいですかね。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○馬場委員長 この後、その他という形で、行政視察の話があるかと思いますがよろしく願いいたします。

それでは第3回の広報広聴特別委員会を閉会とさせていただきます。

○豊田委員 何で閉会するんですか。その他の欄で検討して記録に残すことも必要ではないですか。質問事項を検討したということで。それはそれで、さっきのあれではないけれども、委員会の中できちんと質問事項を残して、これだけのものをまとめましたという、詳細はなしにしても、例えば、休憩時間中にまとめたので、こうしますというよ

うな報告をして、委員会が終わってもいいのではないかなと。ちょっと、走りすぎた言い方かもしれません。

○馬場委員長 次第の中には、その他が入っていますので、そこでやらさせていただきます。

済みません。それでは閉会は取り下げさせていただいて、会議を続行させていただきます。

それでは、4番目のその他ということに入りたいと思います。その他のほうでは、事務局のほうで行政視察の資料を今お渡ししますので。

ただいま配付させていただきました行政視察の質問表についてですが、今出していただいた方について質問表として提示をさせていただきました。この中で最終的には、まだ相手側のほうへはまだ行ってないだね。ここで決めるということを進めていきたいと思いますが、少し読む間、時間をとりたいと思います。

それでは、暫時休憩といたします。

午後2時29分 休憩

午後2時40分 再開

○馬場委員長 休憩を解いて、会議を進めさせていただきます。

お手元に配付させていただきました行政視察質問表の中で、各自治体のほうへ10問程度に絞っていききたいと思います。その件につきまして、御意見をいただきたいと思いますが、選択方法はどうしましょうね。

○渡辺副委員長 これをまとめると、えらい時間がかかりそうな気がするのですが、もう任せてもらって。ただ、せっかくつくってもらったので、コメントがあれば言ってもらって、それを踏まえて、いつもそう思いますが、余りたくさん出すと、この説明で時間がなくなってしまって、質問しようと思っても「はい、終わりです」と言われるので、質問は項目を絞って、後は時間があれば口で聞いてもらおうと。そのほうがいいかなというふうな思いでおりますけれども、いかがでございましょうか。

○馬場委員長 渡辺副委員長のほうから今お話がありましたけれども、さらっと見ていただいて、ちょっと、このことが私はもう少し聞きたいなという御意見をいただければありがたいと思います。最終的には正副委員長で今言われたように、余り多い質問だと、回答だけで時間を食ってしまいますので、ある程度は絞っていききたいと思いますが、もし何かありましたら御意見をください。

○豊田委員 せっかくですから、出されている方で、私はこのところがポイントですとか、この質問はこういう根拠なので、ぜひというのがあれば説明していただければ。

○馬場委員長 私のほうは、両方同じような形で質問をさせてもらって、議会報告会を開催するに当たって、やはり一番、市民が関心のある部分のテーマを決める決め方、それと、どうしたらより多く人が来てくれる方法というのと広報の仕方、この辺が一番知りたいなというふうな。我々湖西の6万人弱ぐらいの人口の広さからしても、経費的なことを考えると、昨年どこでしたかね。八王子ではなくて、駅の前でチラシまで配ってというふうな、それでも余り成果が出ていなかったというのもあったりするものですからね。そういったところの苦勞の度合いが聞ければなというふうに考えて、今回質問の表の中に入れさせていただきました。

以上です。

渡辺副委員長、何かありますか。

○渡辺副委員長 私が聞きたいのは、議会報告会をどうやってやっているかということをもまず聞きたい。それが中心です。後は、提言にあった内容を聞きたいということで、この中にちょっと落としましたけれども、さっきも言った本会議のネット放送、コストのことを考えて、どうやってやっていったか、それを聞きたいなと思います。

以上です。

○馬場委員長 豊田委員、お願いします。

○豊田委員 私も一番最初に言ったのは、インターネット中継、非常にきれいな独自のページをつくってやっ

すので、その投資額と年間維持費、手法ですね。あわせて聞きたいなというのが1つありました。

あと、亀岡では議会報告会が、はっきりわからないですけれども、結構歴史があって、開催数がふえてきているのではないかなという印象を持ちました。市民の反応と回数がふえれば、当然議員の負担もふえてくるのではないかなと思いますし、定例議会終了後、毎回やっているようなものですから、その辺の議員の反応も知りたいなと思いました。それから広報広聴会議というのを独特の、いわゆる委員会とは別の条例をつくって設定しているわけなんですけれども、その辺の位置づけと活動内容に興味があったということでしょうか。

後は、ごらんいただいたとおりです。同じようなことで福知山市のほうが、今ちょうどホームページの改修に関して公募をしているんですね。たしか70万円の予算を設定してあったんですけれども、それほどまでのもので70万円と設定したのか非常に興味を持ちましたものですから、その辺を聞いてみたいなと思いました。

あと、委員会の行政視察報告会というのを、市の職員と市民を対象に公開しているということなんですけれども、実際に公開する成果が出ているのかどうかあたりも含めてというところで、書かせていただきました。

以上です。

○馬場委員長 ありがとうございます。楠さん、いいですか。

○楠委員 私のほうからは、2点ほど。亀岡市のほうは高校生議会というのをやられたみたいなんですけれども、これは一過性のものなのかどうなのかということをお伺いしてみたいなというのと、あと「議会報告会」と「わがまちトーク」と、2つ分けてやられているみたいなんですから、「わがまちトーク」というのは、どういうふうに行われているのかなというのが興味深いなと思います。

あと、福知山のほうですけれども、ランキングがすごく高いんですけれども、その中でも住民参加のランキングが高いんですね。なので住民参加をどのように取り組んでおられるのか。ちょっと要綱なんかを見ていると、住民から出された意見を政策につなげるような仕組みなんかを取り入れているような感があったので、具体的にどのようにされているのかを伺いたいなというふうに思いました。

以上です。

○馬場委員長 ありがとうございます。加藤委員。

○加藤委員 私の場合は、豊田委員が言っていたように、インターネットの活用状況ですね。費用対効果はどんなものかなというようなことを実際に聞いてみたいということと、やはり議会と市民、それから各種組織、そういうようなものは、どういうふうと一緒に活動しているのかということを知りたいなと思っています。これは両方の市に対してです。

以上です。

○馬場委員長 ありがとうございます。以上が今回、提出をさせていただいた方々からの報告というか、一番聞きたいところを今説明していただきました。そのほかに、一応きょうじゅうにということだったんですけれども、きょうの会合で気がついた、こういうことを聞きたいという方がほかにおられるようでしたら、御報告いただければと思いますが、いいですか。あと、渡辺副委員長と相談した中で、余り項目が多くても、先ほど言ったように時間ばかりとってしまいますので、ある程度、現場で直接お尋ねしたいという項目があろうかと思っておりますので、その辺については少し事務局と相談しながら、こちらのほうで決めていきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○馬場委員長 それでは、そのような形をとらせていただきます。

暫時休憩とさせていただきます。

午後2時49分 休憩

午後2時54分 再開

○馬場委員長 休憩を解いて、会議を進めさせていただきます。

質問事項につきましては、先ほど各出された方の御意見をいただき、正副委員長にてまとめさせていただきます。また、事務局を通じて相手のほうにも質問状を送付させていただきます。なお、切符等の手配につきましては、この7月26日の午後1時から配付と少し連絡事項をさせていただきますので、7月26日の1時に御参集をいただきたいと思いを。

以上です。ほかには何か皆さん方から御意見は何かありますでしょうか。よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○馬場委員長 それでは、閉会とさせていただきます。副委員長お願いします。

○渡辺副委員長 それでは、準備が悪くていろいろ御迷惑をおかけしましたけれども、また御意見をいただきながらまとめていきたいと思いを。よろしくをお願いします。きょうはお疲れさまでした。ありがとうございました。

〔午後2時55分 閉会〕

湖西市議会委員会条例第28条第1項の規定により署名する。

委員長 馬場 衛